3000人の楽しい町
No.580
2019
7月

町報こうふ KOFU

木谷沢でハートキャッチ♡

～初！読者応募モデルが「町報こうふ」の表紙を飾る～

【モデル】
森田鈴那さんと塩見丸子さん（ともに江府中学校1年生）

動画で町報こうふ!
URL:https://www.youtube.com/user/townkofu

－特集－

農村の危機は誰が救う？ 私たちができること

～集落営農やグループ営農のススメ～

▲江府町を代表する田園風景“御机の茅葺小屋”

■農村が抱える課題と向き合う

”平成“から”令和“へと時代が移り変わった今、農村を取り巻く環境も大きく変化しています。

例えば農家数について見てみると図1のように年々減少しています。原因として農業従事者の高齢化や担い手がいないといったことが考えられています。また、農地では、とりわけ水田において図2のように作付けをせず耕起や草刈りのみを行う「自己保全管理農地」が数年で急増しており、耕作放棄の発生に歯止めがかからない状況です。

さらに、農道・水路の出役についても参加者が減り、農地や農業用施設が維持できなくなることが懸念されています。

■農村を守る鍵は”農村“にある

これからの農業は、今まで以上に地域として取り組むことや協力していくことが求められています。今回は、地域で農地を守っている集落営農組織や、新たに取り組みを始めた組織などからお話を伺います。

「田んぼで転んで泥だらけになった」
「うちのお米が日本で一番美味しい」
あたりまえの農村風景がなくなる
そんな日が近い将来やってくるとしたら…
今、動かずにいつ動きますか？

図２　江府町の自己保全管理農地の推移

出典：江府町地域再生協議会農地データ

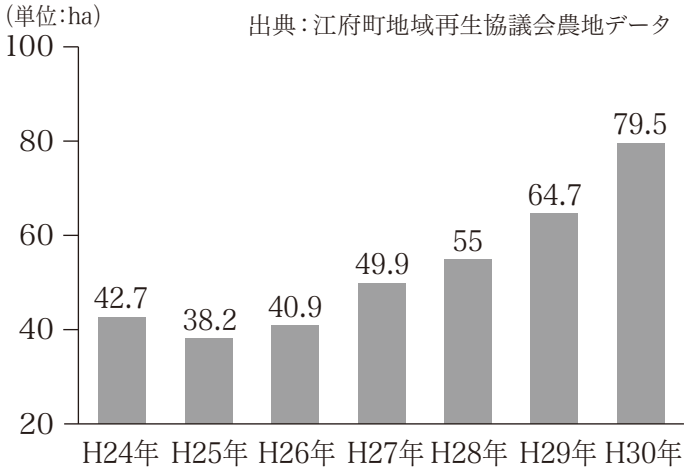
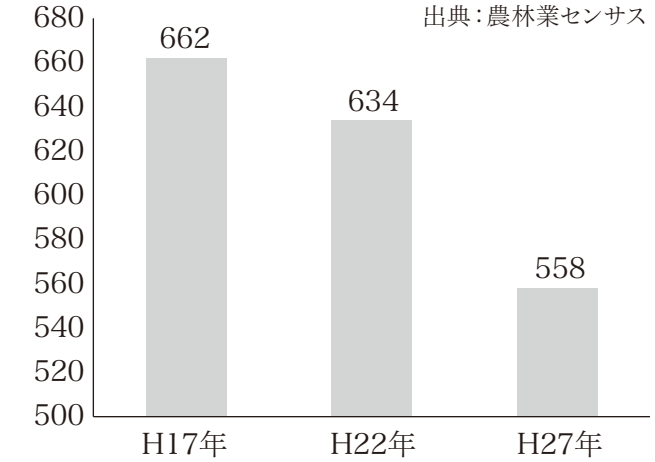


図１　江府町の農家数の推移

出典：農林業センサス



集落で農地を守る”集落営農“のススメ

～「農事組合法人かがやき」の取り組み～

■集落営農でもうまく運営できる

集落営農を検討する中で、設立後の運営が不安という声も少なくありません。特に、設立後の3年間は見込みが立てづらく、経営が安定しづらい面もあります。

そこで、平成28年に発足した「農事組合法人かがやき」の設立後3年間の経験から、運営上のポイントや地域の課題解決に向けた具体的な取り組みについてご紹介します。

■きっかけは”作り手がいない“

「地域に担い手がいない状況で、定年退職してから日の浅い人がたくさんいて、みんなで協力して頑張ろうと話し合いを始めました。勉強を重ねるなかで、”法人化まで頑張ってみよう“という話にもなり、他の事例を学びに、研修にも行きました。いろいろ勉強しながら、日々、話し合いを続けています」と話す、同法人代表理事の川上誠さん。

同法人では現在も、今後の取り組みを決めていくための話し合いを何度も重ねています。

■担い手としての集落営農

「急に”作付けできなくなった“という相談を受けることがあります。今までは担い手を探していたところを、同法人で受けられるようになりました。また、組織の体制を強化し、効率化を図るため、機械や施設の整備もしました」と話す川上さん。同法人が、農地の集積を進めながら、組織体制強化も図り、地域の重要な担い手としての役割を発揮しています。

■資源を活用し3年間黒字経営

「各作業については、それぞれの都合を聞きながら、シフトを組んで計画的に進めています。リタイアされた方も作業に協力してくれるので助かっています。運営については米の販売代金のほかに、中山間地域等直接支払交付金を活用したり、農業機械も個人所有の機械を利用したりしました。その成果もあり、3年間黒字経営です」と川上さんは話されました。

地域の人やモノ、財源を上手く回るように工夫することが、健全な経営につながっています。

■協力できる組織を目指して

「以前は法人の理事は男性ばかりでしたが、今年から2名の女性が就任しました。また、集落の女性が中心となり、野菜作りにも挑戦しています。これからも、地域のみんなで一緒に協力しながら進んでいきたいです」と川上さんは話されました。

同法人では、一人一人の活躍が地域の課題を解決し、地域の活力につながる取り組みをみんなで協力しながら実現しています。

農事組合法人かがやき
代表理事　川上　誠さん

▲設立総会の様子

【「農事組合法人かがやき」の詳細データ】

代表理事：川上　誠
組 合 員：２６人
主な作物：水稲・そば・ピーマン

≪農地の集積状況≫

平成２８年	５．０ha
平成２９年	８．９ha
平成３０年	９．１ha
令和元年	１０．６ha

集落営農設立に向けて話し合いを進めています

～「洲河崎集落営農推進委員会」の取り組み～

■集落営農を検討

「近年、高齢者が一人で農地を守っている世帯や、他の生産法人に管理を任せている所有者が増えてきました。そこで、”集落営農に向けて前向きに考えていこう“と、話が進み、活動が始まりました。まず、”集落営農推進委員“を5名選出し、委員を中心に集落営農について協議を重ねています」と話す、洲河崎集落営農推進委員会の影山一成さん。洲河崎集落では、農地の後継者問題を地域全体の課題として考え、まずは同委員会で集落営農の形態などについて協議を続けています。「集落営農について役場や普及所に相談し、同委員会や集落で勉強会を開催しながら、少しずつですが理解を深めています」と影山さんは話されました。

勉強会では集落営農の形態や法人化することのメリット、さらに、県内で活動されている集落営農組織の事例などをテーマにしています。

■まとめを配布して情報共有

「同委員会で検討した内容については、情報共有できるように簡単にまとめたものを集落に配布しています。このことにより、会議の内容、進捗状況を伝えられ、みなさんの意見が聞きやすくなると考えています」と話す影山さん。

話し合いに参加できない方への情報共有の方法について工夫しています。

▲集落営農について同委員会で検討する様子

■この地域の集落営農を作りたい

「洲河崎集落の”ほ場“は緩傾斜地で、法面もほかの集落に比べ、非常に少なく管理がしやすい面があります。今後は、”後継者がいない“などの理由で、耕作放棄地が増えないように、この地域に適した集落営農を進めていきたいです」と影山さんは抱負を述べられました。

洲河崎集落では、地域の課題をどのように解決していくのか、地域に合う集落営農はどんな形態なのかについて話し合いを続けていきます。

洲河崎集落営農推進委員会
影山　一成 さん

■集落営農のメリットとは

日野振興センター日野振興局日野農業改良普及所の長戸竜志普及主幹に伺いました。

「集落営農の最大のメリットは、地域がまとまることで効率的な営農ができることです。作業に参加する程度に応じて配当等を受け取ることができたり、機械を共同で導入することになれば、各世帯の負担を大きく減らすことにつながります。集落営農の形はひとつではありません。取り組むきっかけも様々です。少人数でもよいので、まずは気心のしれた仲間の話し合いから始めませんか。普及所も相談にのります。」

鳥取県西部総合事務所 日野振興センター
日野振興局 日野農業改良普及所
長戸　竜志　普及主幹

”グループ営農“のススメ
～有志でつくる組織の取り組み～

■有志で守るグループ営農

今年に入り、町内で３つのグループ営農組織が発足しました。このグループ営農組織は、数名の有志による営農組織で、経営所得安定対策制度の水田活用直接支払交付金を活用して、そばの作付に取り組んでいます。

そんなグループ営農１年目のみなさんへ、以下の４点について質問をしました。

【質問項目】

Q１　発足のきっかけは？

Q２　発足までの具体的な動き

Q３　今後の展開

Q４　組織化を考えておられる方へアドバイス

大河原営農 文殊（もんじゅ）の会

代表者：神庭　眞
構成員：　５名
管理面積：１.５ha

①中山間地域等直接支払交付金の次期５年間に取り組めるか不安な部分もあったことから、集落へアンケートをしたことがきっかけです。

②中山間協定の役員を中心に３回くらい寄って会を開きました。

③若い世代にも加わってもらって農地の受け手となって頑張りたい。

④取り組み初年度なので、アドバイスはまだできません。

下安井やらいや会

代表者：松原憲治
構成員：　６名
管理面積：０.５ha

①集落の耕作放棄地の解消や景観形成の目的でそばを作ってみようという声から始めました。

②参加者に声掛けをして集まってもらったり、発足後もそばの勉強会などを開いたりしています。

③今後は、集落で育てたそばを老人会に提供したりして地産地消を推進したい。

④アドバイスまではできませんが、まずは地元の農業委員などに相談してみませんか。

ＢＳ（ビーエス）小江尾会

代表者：空場　語
構成員：　４名
管理面積：０.６ha

①荒れた農地や管理だけの農地が増えており、何とかしなければと思い取り組みをスタートしました。

②地権者への声掛け、組織が継続できるような運営方法、また会費について構成員と話をしました。

③一緒に活動する仲間を増やしたい。また、地域で農業を始めたいという人のサポートもしたい。

④同じ気持ちの仲間が３人集まれば、前に進められると思います。

”人・農地プラン“のススメ

～地域や農地のことをみんなで話しませんか～

■人と農地をどうつなげていくか それが”人・農地プラン“

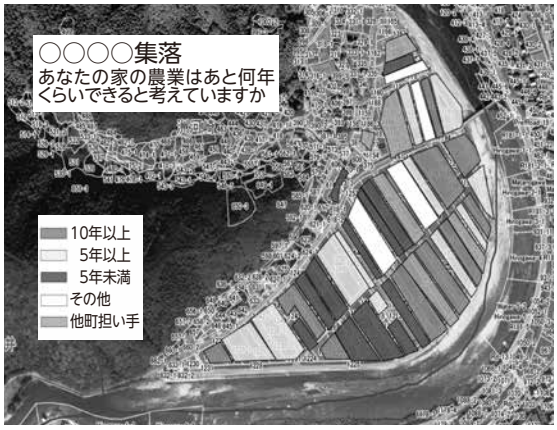
「人・農地プラン」は近い将来（5年～10年後を目安）の、地域の農地について、みんなで話し合いながら計画するものです。このプランを作成することで、担い手が農地を集める計画をあらかじめ立てやすくなります。また、課題や危機感をみんなで共有し、事前に農地を守るための見通しが立てられるといったメリットもあります。ここでは「人・農地プラン」の作成にあたり、重要な3つのポイントを紹介します。

■①アンケートをとりましょう

農地の所有者にアンケートを取り、今後の経営予定などを把握しましょう。1人1人の考えを聞き取るのは時間がかかりますが、アンケート形式であれば、簡単にまとめることができます。

■②地図を描きましょう

アンケートの集計後、農地の地図を色分けして近い将来の農地マップ（図3参照）を作成します。例えば、「あと何年農業を続けられますか」という項目に対して、”直近で担い手がいない農地“や、”5年程度は続ける“といった農地を色を変えて着色します。そうすると、農地の担い手状況などが、誰でも簡単に把握でき、地域の状況をみんなで共有することができます。



▲図3 色分け農地マップ

■③みんなで話し合いましょう

アンケートの結果と、色分け農地マップを材料にして、みんなで話し合いをしましょう。1人1人の考えがまとめられているため、客観的なデータとして地域の特徴や傾向、課題を知ることができます。

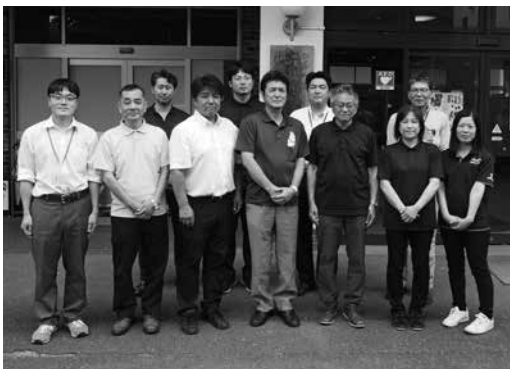
これらのデータは、今後の経営拡大に向けて、離農する農家の農地を担い手に集積することにつながります。さらに、農地の分散錯誤を解消し、作業効率の向上にもつなげることができます。

また、すぐに担い手がいなくても、この話し合いをスタートにして、集落営農の検討や移住定住による担い手の受け入れなど、次のステップへと進めていくことも可能となります。

■地域の課題に今できること

集落営農やグループ営農など、町内でも地域の課題に向かって様々な取り組みが始まっています。近い将来起こりうる農村の変化をみんなで共有し、一緒になって考えることが農村を守っていく”鍵“になります。

今だからこそ、地域について一緒に考えてみませんか。


▲農林産業課・農業委員会職員一同でみなさんの地域を力いっぱいサポートします！

【集落営農やグループ営農などに関する問い合わせ】
江府町役場農林産業課　電話：0859-75-6610
江府町農業委員会事務局　電話：0859-75-6620

感謝状が贈呈されました！

5/22

行政相談員の井上あけみさん（荒田）に５月２２日（水）、湯梨浜町の国民宿舎「水明荘」で行われた「平成３１年度行政相談委員全体会議」にて、総務省鳥取行政監視行政相談センター所長から感謝状が贈られました。井上さんは、平成２７年４月に総務大臣から行政相談委員に委嘱され、住民の暮らしの困りごとの解決に尽力されている活動が評価されました。相談所は毎月１回開設しており、日程や場所は「町報こうふ」に掲載していますので、お気軽にご相談ください。

▲感謝状を手にする井上さん

5/29 今年はもち米の田植えに挑戦！

▲田植え学習の様子

江府小学校５年生児童が５月２９日（水）、江府小学校近くの田んぼで田植え学習を行いました。今年は田んぼを管理する長尾和子さん（小江尾）が栽培された、もち米「ことぶきもち」の田植えに挑戦。児童は、地元ボランティアの谷口正幸さん（大満）や長尾さんの指導を受けながら、一列ずつ丁寧に手植えをしていきました。今後はこの田んぼで育てられたもち米を秋に収穫し、１２月頃にもちつきを行う予定。児童は長尾さんや、谷口さんに感謝を述べました。

好プレーに大きな歓声があがる

6/1

日野郡少年野球連盟主催による「日野郡少年野球江府町大会」が６月１日（土）、江府町運動公園総合グラウンドで行われました。今大会は郡外からチームを招待し、全３チームでのリーグ戦で行い、選手は日頃鍛えた技と力を発揮しました。結果については以下の通りです。

【結果】

優　勝　河北スポーツ少年団
準優勝　日野ユナイテッドスターズ
第３位　美保レジェンズ

▲3チームで記念写真

6/6 ちまきってこうやって作るんだ♪

▲ちまき作りを教わる様子

子供の国保育園年長児が６月６日（木）、江府町赤十字奉仕団と「ちまき作り」を行いました。園児と奉仕団のみなさんは、水とだんごの粉をしっかりとこねてだんごを作り、笹を３枚重ね合わせながら丁寧に包んでいきました。園児は、初め慣れない手つきでしたが、奉仕団からコツを教わると上手に、一人で作れるようになりました。できあがったちまきは、おやつの時間に他のクラスにも提供され、みんなで砂糖をつけて美味しくいただきました。

6/7 五感を使ってホタル観賞

▲ホタルに関するクイズは大好評！

奥大山江府町ホタルの会（神庭賢一代表）が6月7日（金）、江府町せせらぎ公園で「2019親子でホタル観賞会～子供の国保育園特別～」を行いました。当日は子供の国保育園年長児親子など約30人が参加。はじめにあやめ館にて、神庭代表と干村隆司さん（大山自然歴史館指導員）がホタルの生態についてスライドを用いて説明。続いて行われたホタルに関するクイズは、新たな発見もあり大好評でした。その後、実際にホタルを鑑賞。子どもたちは五感を使って楽しみました。

決勝は打撃戦を制した、江府消防署が優勝！ 6/10～13

令和元年度江府町グループ対抗レクリエーションソフトボール大会が6月10日（月）から13日（木）、江府町運動公園総合グラウンドで行われました。職場やグループ等で構成された全7チームが参加し、熱戦が繰り広げられました。結果については以下のとおりです。

【結果】
優　勝　江府消防署
準優勝　奥大山Ｆ
第３位　フジハラヒノキーズ

▲優勝した江府消防署のみなさん

6/20 今年もプールの季節がやってきました！

▲みんなで一緒にピカピカに

町民プールの清掃が６月20日（木）に行われました。江府町シルバー人材センター会員を中心に、江府中学校１・３年生のほか、江府町商工会青年部４名も参加。川上敬之青年部長は「町の子どもたちのために何かできないかと考え、今年初めて参加しました。これからも地域に貢献していきたいです」と話されました。

町民プールの一般利用について
【利用期間】７月２５日（木）～８月２２日（木）
【時　間】午前１０時～午後５時（※利用は無料）
【休館日】毎週水曜日、８月１６日（金）、１７日（土）

そうだったんだ！上・下水道の仕組み 6/21

江府小学校４年生１８名が６月２１日（金）、社会科の授業で江府町内の上・下水道の施設見学学習を行いました。まず初めに、江府町せせらぎ公園の近くにある江尾水源池と配水池を見学。次に、佐川にあるチロルの里水処理センターを見学し、町の担当者から説明を受けました。児童は、水源地から配水池に水が供給される仕組みや、下水が処理される仕組みに「そうだったんだ！」と驚きながら、江府町の水の豊かさについてしっかりと学びました。

▲町担当者から説明を受ける児童

支え愛社会実現にむけて

6/22

江府町社会福祉協議会（以下社協）主催による「令和元年度江府町福祉大会」が６月２２日（土）、江府町防災・情報センターで開催されました。はじめに尽力された１１名の方に功労者表彰が贈られ、川上博久さん（本一）が代表で受賞されました。井上裕吉さん（荒田）が、住民主体の支え愛活動について、荒田集落の自主的な取り組み等を紹介。さらに、江府町役場福祉保健課宮脇圭子主任保健師が、社会参加に向けた町の取り組みについて説明しました。休憩を挟んだ後、地域共生社会実現拠点施設「いくらの郷」の坂本昭文所長が、「地域共生社会の実現を目指して」と題して講演されました。最後は、子供の国保育園年長児による「日野川子供太鼓」が披露されました。会場内では地元事業所によるパンやお菓子、手作り雑貨などの物品販売も行われ賑わいました。

▲社協宮本正啓会長(写真左)より表彰を受ける川上博久さん（写真右）

▲住民主体の支え愛活動について、井上裕吉さんが紹介

▲締めを飾る「日野川子供太鼓」

▲坂本昭文所長による講演の様子

6/26 第９回親善グラウンドゴルフ大会

▲（写真左から）板垣隆久さん、板垣孝子さん、三輪貴憲さん

江府町明徳学園学生自治会（加藤富郎会長）主催による「第９回親善グラウンドゴルフ大会」が６月２６日（水）、江府町せせらぎ公園で行われました。ラウンド後にはホールインワン大会を実施し１２名が賞を獲得しました。結果は以下の通りです（敬称略）。

【結果】

優　勝	板垣孝子さん（３５打）
準優勝	板垣隆久さん（３８打）
第３位	三輪貴憲さん（４２打）

江尾十七夜を体験して学ぼう！

6/29

江府町の伝統行事である「江尾十七夜」に関連した各種行事を体験する「土曜学習」が６月２９日（土）、江府小学校で行われました。４組に分かれ、それぞれ「こだいぢ踊り」、「和太鼓」、「すもう」、「灯ろうづくり」を地元のボランティアの指導のもと体験。児童は体験を通して、郷土の伝統行事の歴史や意義などについて学んでいきました。江府町青年団が指導した「すもう」では、なかなか勝負が決まらないこともあり、白熱した熱戦が展開されました。

▲白熱した「すもう」の体験

少しの勇気で救われる人がいます
愛の血液助け合い運動

病気やけがの治療のため、輸血を必要とする人たちは「献血」によって支えられています。「献血」は見知らぬ誰かのために、健康な私たちができるボランティアです。
みなさまのご協力をよろしくお願いします。

【日　時】 7月19日(金)
午前9時30分から午後0時30分
【会　場】 江府町防災・情報センター 駐車場(受付は1階調理室)
【基　準】 体重50kg以上・69歳まで
(65歳以上は60代での献血経験がある方)
【ご用意いただくもの】
①献血カードまたは運転免許証など本人確認のできるもの
②服薬のある方はお薬手帳等服薬内容が分かるもの

献血の流れ
1. 受付・問診
2. 採血前検査
3. 採血(400㎖)
4. 休憩
5. 献血カード受け取り

※受付から終了まで30分程度かかります。

【お薬について】

※当日服用していても採血可能な薬
・ビタミンやミネラルなどのサプリメント
・漢方薬　・高脂血症の薬　・一般的な胃腸薬
・アレルギーの薬　・尿酸値を下げる薬
・血圧の薬(薬で血圧がコントロールされている場合何種類でも)

献血が可能な薬か、事前に確認することができます。福祉保健課にお問い合わせください。

※前日までの服用なら採血可能な薬
・頭痛薬(当日の体調が良好な場合)
・市販の風邪薬(当日の体調が良好な場合)

※医師による採血の判断
3日間以内に服薬がある場合は、問診に回答をいただき、医師が体調やその他の問診内容から総合的に採血の可否を判断させていただいています。

【問い合わせ】江府町役場福祉保健課　電話：0859−75−6111

自衛官を目指す方へ
令和元年度自衛官等採用試験

各種目	対象年齢	区分	受付期間	試験日	合格発表	試験場所(予定)
一般曹候補生	18歳以上33歳未満	男女	7月1日(月)～9月6日(金)	1次　9月21日(土)	1次　10月4日(金)	米子市公会堂
				2次 10月11日(金)～16日(水)(内1日)	最終　11月8日(金)	
航空学生	(海上)18歳以上23歳未満	男女	7月1日(月)～9月6日(金)	1次　9月16日(月･祝)	1次　10月4日(金)	伯耆しあわせの郷
				2次 10月15日(火)～20日(日)	2次(航空)11月5日(火)	
					2次(海上)11月11日(月)	
	(航空)18歳以上21歳未満			3次 11月16日(土)～12月19日(木)	最終 令和2年1月21日(火)	

自衛隊米子地域事務所では、令和元年度の陸･海･空自衛官の採用制度や待遇についての受験説明会を実施します。自衛隊に興味ある方、受験を希望される方はお気軽にお越しください(※参加手続きや費用は不要です)。

【日　時】 7月25日(木)　午後4時～6時(※説明会の退出入は自由です)
【場　所】 江府町防災･情報センター1階会議室

【問い合わせ】自衛隊米子地域事務所　電話：0859−33−2440

7月は第69回「社会を明るくする運動」強調月間・再犯防止啓発月間

「社会を明るくする運動～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～」はすべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない地域社会を築こうとする全国的な運動です。

犯罪や非行のない安全で安心な暮らしをかなえるために、今、何が求められているのか、そして、自分には何ができるのかを、みなさんで考えてみませんか。

7月10日（水）～8月9日（金）は部落解放月間

部落解放月間は、「同和対策事業特別措置法」が施行された昭和４４年7月10日を記念して、鳥取県が翌年の昭和４５年に制定しました。

期間中、県内で様々な取り組みを行い、江府町でも下記の日程で研修会を実施します。

この機会に人権について考えてみましょう！

人権・同和問題研修会

“差別をなくす”から“手をつなぐ”へ
～ルーツを大切に生きる～

参加無料！

日程　令和元年８月７日（水）　午後１時３０分～３時
場所　江府町防災・情報センター　２階　情報研修室
講師　岡本工介さん（一般社団法人タウンスペースWAKWAK業務執行理事兼事務局長）

【問い合わせ】江府町教育委員会事務局　電話：0859－75－2223

人権の花の贈呈式及び苗植えを実施！

「人権の花」の贈呈式を6月5日（水）に江府小学校体育館で行いました。

今年度は、スペシャルゲストとして「人ＫＥＮまもる君とあゆみちゃん」が登場し、2人が見守るなか、古都英幸さん（米子人権擁護委員協議会長）、永井学さん（法務局米子支局総務課長）、清水礼子さん（江府町人権擁護委員）から花の苗が3名の代表児童に手渡されました。

児童の代表からは「大切に育てます」と意思表明があり、贈呈式終了後には、町民ボランティアの方々にご協力いただいて児童の手で大切に苗が植えられていきました。

▲苗植えの様子

▲人ＫＥＮまもる君（写真右）＆あゆみちゃん（写真左）と記念撮影

▲水やりをする児童

白石町長コラム Vol.35

「不易流行（ふえきりゅうこう）」

～よき伝統を守りながら（不易）
進歩に目を閉ざさないこと（流行）によって
「理想」を創造する～

江府町を担う人材を育てる教育

日野郡ふるさと教育推進協議会の設立総会が、6月27日（木）、日野町役場で開催されました。この協議会は、日野郡における青少年に郷土の良さを伝え、将来ふるさとに貢献できる人材を育てるために、関係機関等が連携してふるさと教育を推進することを目的としています。平成31年度行財政方針でも述べましたが、私は江府町の抱える課題を解決する糸口は、若年層の人口を増やすことに、町全体が一丸となって取り組むことだと考えています。そのために重要なのは、町外からの移住定住を促進するとともに、現在江府町に住んでいる子どもたちに、将来江府町に帰って来て、江府町を担う人材になってもらうような、郷土愛を持たせる教育をすることだと考えています。では、具体的にどうしたらいいのか。江府町では昨年度から中学生を対象にしたアントレプレナーシップスクールを開催し、地域課題を自分たちで解決する教育を行っています。それを高校生になってもしっかりとサポートします。

また、将来のキャリアビジョンを描き、実現するための支援もしていきたいと考えています。江府町だけでは力が足りないところを、日野郡三町で一緒になって、県の協力も得ながら「公設塾」の運営という形で推進していきます。本年度は日本財団の助成も受けられることになりました。地域のみなさんのご理解、ご協力をよろしくお願いします。

▲日野郡ふるさと教育推進協議会設立総会の様子

「3000人の楽しい町プロジェクトチーム」（※）活動報告

今年度のプロジェクトチーム活動は、職場の環境・働き方の改善に取り組むこととしています。

新庁舎の建築が、いよいよ8月に着工、来年度中の完成、そして移転と進んでいく中、おびただしい量の書類の廃棄や、今後の保管方法などが課題の一つであることは5月号で紹介したところです。一方で、日々の仕事を見つめ直し、事務や業務のしくみをわかりやすく効率化していくことも必要になってきます。そこで、まず取り組むのが、39歳以下の全職員を対象とした『小さなカイゼン部活動』。いつもと同じカテゴリで、いつもと同じやり方で業務を繰り返していては「あれ？」と気づくことは難しいものです。所属を超えて編成したチームなら、「何で？」と素朴な疑問を受けたり、自らが「不思議だな」と感じて疑問を深め、そこから「どうしたらいいのか？」と考え始めるような活動ができます。もちろん、この活動の先に目指すのは、業務を改善し、働き方を変えることで、町のみなさんの元気と幸せにつながること。活発な部活動から、フレッシュなアイデアが浮かぶよう、どうぞご期待ください！

～若手職員による『小さなカイゼン部活動』～

≪活動の柱≫

快適に働ける職場づくり「仕事のやり方改善」に取り組む過程で、住民と職員が共に活躍できる新しい働き方を考える

●事務や業務の改善（職員）
↓
対話の充実（町民）

●仕事が楽しくなる職場（職員）
↓
行くのがワクワクする役場（町民）

≪めざす姿≫

「職員として、こうありたい！」
（2017年職員ワークショップから）

★住民に寄り添える・頼られる
★プロとしての自覚を持つ
★積極的で元気

※「3000人の楽しい町」プロジェクトチームとは・・・有志の20～30歳代の江府町役場職員と、その職員から選出されたリーダーで構成。今年度で4期目を迎え、楽しい町の支障となる様々な課題について課を越えて取り組む。

これまでの活動はこちら！

これまでの活動の様子はQRコードを読み取ることでご覧いただけます。

6/9（日）第61回鳥取県西部消防ポンプ操法大会

小型ポンプ操法の部　江府町消防団第１分団　優勝

（小型ポンプ操法の部：全３分団が出場）

ポンプ車操法の部　江府町消防団第２分団　優勝

（ポンプ車操法の部：全１０分団が出場）

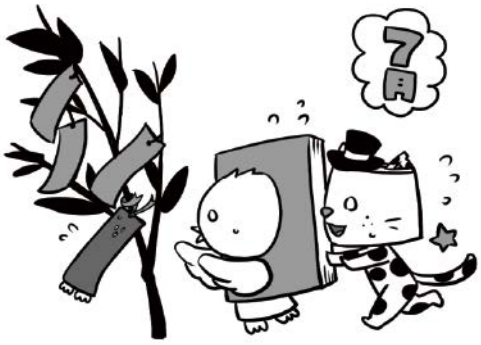
【操法要員】※大会優秀番員表彰受賞者

江府町消防団第１分団

指揮者　班長　森田祐基（※）
一番員　団員　北村勇介（※）
二番員　団員　川上春樹
三番員　団員　竹内琢郎
補助員　団員　中尾祐也

江府町消防団第２分団

指揮者　原田浩司（※）
一番員　川上柊維
二番員　中野辰彦
三番員　谷口宗一郎
四番員　下村純也
補助員　中川敦紀



図書館だより

江府町立図書館（江府町防災・情報センター内）

開館時間：月～金　午前８時３０分～午後７時
土日祝　午前８時４５分～午後５時３０分

お問い合わせ：0859-75-2005（江府町教育委員会事務局・共通）

※図書館での行事については、巻末カレンダーもご参照ください。

○休館日のお知らせ

【7月25日㈭】

６月に続いて今月も、休館日を設けます。

休館日にできること・できないことに関しては先月号の町報を参考にしてください。

○出張おはなし会、増えました

子育て支援センター「じゃりんこくらぶ」内で開く出張おはなし会が、毎月開催になりました。赤ちゃん向け絵本の読み語りだけでなく、歌や手遊びを楽しむ時間です。

詳しい日程は子育て支援センター（電話：０８５９－７５－２７０４）にお問い合わせください。

▲過去の出張おはなし会の様子

○毎年恒例、職業体験

６月下旬に、中学生の職業体験が行われました。教育委員会事務局でも３名を受け入れ、体験期間中に６時間ほどでしたが図書館での仕事を体験してもらいました。

▲パソコンで本を管理しています

体験後、お手紙をもらいました。一部を紹介します。

＊＊＊

▼仕事をしながらお客さんにあいさつするのは、少し大変でした。

▼お客さんが使いやすいようにしていることがわかりました。これからの生活の中で、他の人が使うことを考えていきたいです。

▼保育園の子どもから、明徳学園のおじいさん・おばあさんまでどのように接したらいいか、考えられて良かったです。

▼地域の方々が来られて自分からあいさつをしたとき、相手の笑顔を見て、あいさつの大切さを実感しました。

＊＊＊

生徒のみなさんには、パソコンを使ったり、本の整頓をしたり、人とは関わらない部分の仕事もたくさんしてもらいました。お手紙からは「人との関わり」について、特に印象に残っているように感じました。仕事とは、「人・社会の役に立つこと」であると限られた時間の中から学び取ったようです。

▲本を保護するフィルムを貼っています

公民館講座のご紹介

今回は、年間講座の書道教室をご紹介します。現在、書道教室は、明徳学園の書道講座受講生と一緒に、毎月一回活動しています。初心者でも書き方の基礎から学べ、楽しく実用的です。漢字、かなど、お好みで選ぶことができます。見学もできますのでご興味のある方は、ぜひお越しください。詳しくは江府町教育委員会事務局（電話：0859-75-2005）までお問い合わせください。

日　時：毎月第3木曜日
　　午後1時30分～3時
場　所：江府町防災・情報センター
準備品：書道用具

▲実用的で楽しい書道教室

エリカ先生のKOFU DE ACADEMIIA 11

エリカ先生の動画はこちらから

Spring Cleaning

Recently, I was speaking with a friend and realized what time of the year it is. Without my mom pushing me, I would have completely forgot about spring cleaning.

In America, there is a phrase for this seasonal habit of deep cleaning our homes, inside and out. It usually falls in March or April, though. We do this to sweep away all the viral germs from the winter flu season, and prepare those who are prone to all the spring pollen. Spring is a time for rebirth, and thus, a fresh environment. I think it’s that sort of image we have for “spring cleaning”.

In Japan, however, I learned that their cleaning season is during New Years. Since New Year’s is a new start for everything: clothes, goals, and living space. Even such a habit is culturally different!

春の大掃除

最近、私は友達と話しをしていて今が 1 年のなかでどんな時期なのか気がつきました。母に言われなければ、「春のお掃除」を完全に忘れるところでした。

アメリカでは、家の内外を大掃除する季節の習慣を表す言葉があります。それはたいてい 3 月か4月に行います。私たちは冬からのすべてのウイルス性の細菌を除去し、花粉症の人たちのために（清潔な家の）準備を行います。春は復活の季節であり、環境も新しくなります。そのことが「春のお掃除」をするためのイメージになるのだと思います。

しかし、日本では大掃除の季節は新年の間だと聞きました。新年は衣服、目標、住居などすべてが新しくスタートするからです。こんな（掃除をする時期の）習慣ですら文化的に違っているのですね。

江府町の地域おこし協力隊の活動日記 vol.12 『隊員のチャレンジ』

奥大山の味を全国に！“つくって”“パックして”“はんばい”まで

法人宮市班
松本（まつもと） 良史（よしふみ）

田植えも終わり大豆の播種も終わりやっと一息つきました。法人宮市の商品の小売りをTwitterを中心としたSNSなどで小規模に行っていますが、さらなる販路拡大に向けて、商談のチャンスがある時はなるべく外へ出るようにしてます。現在も、『地域商社とっとり』を通じて取引の話を進めている所です。販路を広げ、多くの人に奥大山江府町の名前と美味しいお米を知ってもらいたいと思います。

『鉄板焼き まつもと』イベント出店情報

料理人でもある松本さんが腕ふるう鉄板焼きを食べにいってみんしゃい！
◆8月4日㈰ 介護フェア in あやめ　◆8月11日㈰ 奥大山山の日ロックフェス@奥大山スキー場

課題を乗り越えて、自慢できる“じげ”の特産品を

観光振興班 岩﨑（いわさき） 智恵（ちえ）

協力隊任期後の活動の拠点となる場、大河原への引越しの準備もしつつ、クロモジの収穫をして、アロマの蒸留実験から、お茶の成分研究などに明け暮れる毎日です。「やはりもう少し品質を上げるには」とか、「せっかくなら環境負荷のかからないパッケージを考えたい」、「こんな装置や機械があればもっと効率よくできる」など、製品作りにおいての壁（課題）に対して解決策を考えているところです。そんな壁を乗り越えて、今年の夏が終わるころには、江府町の自慢となるような特産品の発表を目指しています！

やせた土地でも麦は栽培できるのか!? ４８種類の麦で実験中

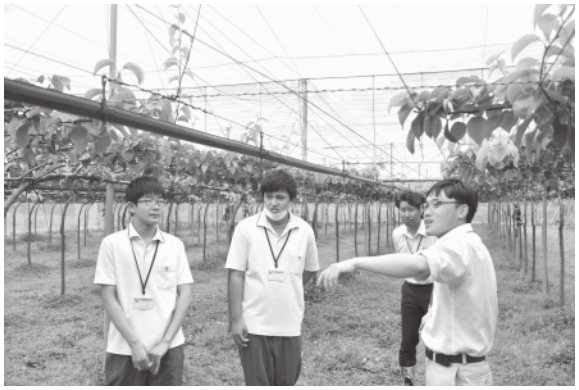
農業振興班 桑畑（くわはた） 才文（さいもん）

今、挑戦していることは麦栽培の実験です！現在、48品種の麦を市民農園カサラファームで栽培しています。去年の秋に蒔いた種は今、立派に育っています！収穫期が梅雨にあたるので麦は山陰地方ではあまり栽培されていませんでしたが、今は早生の品種もあるので梅雨前に収穫出来る麦もあります。ですが、多くの品種が梅雨時期のタイミングで収穫期を迎えました。長雨で、麦に悪影響がないよう祈るばかり。梅雨が過ぎてから、今度はコンバインで収穫してみます。どうなるかが楽しみ！

日野高レポート ～職場体験学習の巻～

日野高校職場体験学習が6月11日（火）から14日（金）まで、江府町役場で行われ、日野高校2年生の山本雅騎（まさき）さんと吉栁帆海（きりゅうほづみ）さんが役場の仕事を体験しました。農林産業課では、農林業や商工観光の説明を受けた後、新甘泉を栽培している現地見学に向いました。普段見慣れない梨農園の設備や、少人数でも作業がしやすいジョイント栽培などを実際に目にすることで学習を深めていきました。

山本さんは「地域の方々とのコミュニケーションの大切さを知りました。この体験を活かしていきたい」と話されました。



▲新甘泉の栽培について町担当者より説明を受ける様子

「担い手」と「空き家活用・移住定住」についての研修会を6月12日（水）、農業委員会総会後に行いました。今回は研修の様子をご紹介します。

江府町再生プロジェクト

講師：農業生産法人㈱D'sプランニング　専務取締役・上田和人さん

大山町を拠点に耕作放棄地でブロッコリー・キャベツ・白ネギを作付・販売。正社員10名・平均年齢約30歳の活気ある会社です。今後、江府町地内でも担い手として参入が計画されています。同社が、これまでの担い手と違うところは、「地元の賛同者と共同で取り組む点」。具体的には、「①栽培技術指導」、「②管理・収穫等作業の請負」、「③農産物の委託販売等の援助」を実施し、将来の"地元の担い手"を育て上げます。「江府町の農業が活性化し、ひいては"活気ある江府町"につなげたい」と上田さんは話されました。

▲講演する上田さん

「江府町空き家情報バンク」の取り組みについて

講師：特定非営利活動法人「こうふのたより」

空き家登録数33件のうち、26件が現在活用されています。物件情報は同法人ホームページにも掲載し、相談件数が年々増加しています。一方で、現状の課題として、紹介できる登録物件の不足が挙げられます。最近は、農地付きの空き家物件の相談が増加しています。「地元の情報に詳しい農業委員や農地利用最適化推進委員のご協力をいただきながら、空き家の活用や移住・定住者の増加、地域の活性化につなげたいです。また、農地の活用にもつながればと思います」と、中川理事長は話されました。

▲講演する特定非営利活動法人「こうふのたより」のみなさん

『農地の困りごと』ありませんか？

■田んぼや畑を、よう作れんようなった。誰か作ってもらえんかいなぁ・・・
■自分の畑に、農機具庫を建てたいけど・・
■農地を借りて農業を始めたい。経営規模を拡大したい。　　など

農地や農業については、お近くの農業委員・農地利用最適化推進委員へご相談ください

【江尾・小江尾・久連】川上博久、上前梅夫
【佐川】奥田隆範、上前梅夫
【柿原】奥田隆範、長尾保
【吉原・大河原】清水治之、長尾保
【宮市】森光正、見山收
【杉谷】加藤直行、見山收
【貝田】加藤直行、谷口一郎
【美用】下垣涼子、谷口一郎
【御机】中田泰、谷口一郎
【助澤・下蚊屋】一二三八郎、見山收
【武庫】賀本幹穂、宇田川保
【下安井・洲河崎】松原憲治、宇田川保
【俣野】山本信男、宇田川保

（敬称略）

7月の農地相談会

農地に関することはお気軽にご相談ください。

◎ 相談日　7月24日（水）
　　午後1時30分～3時30分
◎ 場　所　江府町山村開発センター

農家の皆さんへ！

老後に備えて安心・安全な農業者年金にご加入を！

農業委員会総会<6月12日（水）開催>

審議案件すべて承認されました。
・農用地利用集積計画（案）　　2件

【問い合わせ】江府町農業委員会事務局　電話：0859−75−6620

司法書士無料法律相談会

▶日時
7月26日（金）
8月23日（金）
午後6時～8時（両日とも）
（※前日までに要予約）
▶場所
米子コンベンションセンター第1会議室
▶内容
相続・遺言/不動産の贈与・売買/不動産・商業登記/成年後見の申立て/高齢者・障がい者の財産管理/家賃・貸金・売掛金など140万円以下の民事紛争/借金・多重債務問題、その他身の回りの法律相談
【問い合わせ・予約先】
鳥取県司法書士会
【電話】0857-24-7024

「全国一斉不動産表示登記無料相談会（西部）

鳥取県土地家屋調査士会では、無料相談会を下記の要領で実施します。お気軽にご利用ください。
▶日時
7月31日（水）
午前10時～午後4時
▶場所
米子市文化ホール
▶相談内容
・土地の境界に関する相談
・土地、建物の表示に関する登記（土地分筆、建物新築等）の相談
▶受付方法
事前に鳥取県土地家屋調査士会事務局へ電話でご予約ください。（※当日、会場での受付も可能です）
【問い合わせ】
鳥取県土地家屋調査士会事務局
【電話】0857-22-7038

新甘泉栽培ほ場見学会の開催（江府町）

▶日時
7月25日（木）
午前9時から1時間程度
▶集合場所
江府町せせらぎ公園駐車場
（栽培ほ場まで徒歩5分程度）
参加を希望される方は、7月19日（金）までに下記へお申し込みください。
【申込み・問い合わせ】
江府町役場農林産業課
【電話】0859-75-6610

労働セミナーの開催（西部）

▶日時
8月2日（金）
午後2時～3時30分
▶場所
米子市立図書館　2階研修室
▶テーマ
『事例から学ぶ　働く時の基本ルール』
▶講師
鳥取県中小企業労働相談所みなくる労働・雇用相談員
▶内容
賃金、労働時間、休日・休暇、退職や契約更新に関すること
参加は無料ですが、申込みは必要です（電話もしくはFAXでお申込みください）。当日参加も可能ですが、資料準備のため事前申込をお願いします。求職活動中の方は証明書を準備しますので、申込時にお知らせください。
【申込み・問い合わせ】
鳥取県中小企業労働相談所　みなくる米子（平日午前9時～午後5時30分）
【電話】0859-31-8785
【FAX】0859-21-0034

「お知らせ」「イベント」など暮らしに役立つ情報をお届けします。

江府町役場
☎0859-75-2211（代表）
〒689-4401 江府町大字江尾475

「介護フェア in あやめ 2019」の開催

▶日時
8月4日（日）
午前10時～午後3時
▶場所
介護老人保健施設あやめ1階
▶内容
・特別介護セミナー（※希望者多数の場合、入場制限あり）
・介護に関する食品や用品の展示
・企業、福祉施設、学校等の出展
・音楽や神楽等の上演
【問い合わせ】
社会福祉法人尚仁福祉会介護老人保健施設あやめ
【電話】0859-75-3230

旧米沢小学校タイムカプセル発掘イベント

▶日時
8月16日（金）
午前9時30分～
▶場所
旧米沢小学校
▶内容
・タイムカプセル掘り出し
・開会行事　等
参加を希望される方は、8月4日（日）までに下記へお申込みください。
【問い合わせ】
旧米沢小学校タイムカプセル発掘実行委員会　担当　三輪
【電話】090-6432-5682

募 放送大学令和元年度第2学期入学生募集（10月入学）

放送大学はテレビやインターネット等で授業を行う通信制の大学です。約300科目の幅広い分野の中から好きな科目を選んで自由な時間に学習できます。

出願期間

第1回　8月31日（土）まで
第2回　9月1日（日）～20（金）

大学説明・個別入学相談会

▶日時
8月3日（土）、17日（土）
午後1時～4時
▶場所
米子市文化ホール
【問い合わせ】
放送大学鳥取学習センター
電話：0857-37-2351
mail:newtottori@ouj.ac.jp

募 戦没者遺児による慰霊友好親善事業の参加者募集

日本遺族会は、「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」の参加者を募集しています。

▶費用
参加費として10万円
▶目的
同事業は、先の大戦で父等を亡くした戦没者の遺児を対象として、父等の戦没した旧戦跡を訪れ、慰霊追悼を行うとともに、同地域の住民と友好親善をはかる。

お申込みについては、鳥取県遺族会（電話：0857-39-2270）へお申込みください。実施地域、日程など詳細については、下記へお問い合わせください。

【問い合わせ】
日本遺族会事務局
電話：03-3261-5521

夏休み企画「裁判をやってみよう！」（西部）

夏休み企画として、下記の行事を開催します。お気軽にご参加ください。

▶日時
7月23日（火）
午後1時30分～4時10分
▶場所
鳥取地方・家庭裁判所米子支部
▶内容
模擬裁判、評議、質疑応答、法廷内見学
▶対象者
小学校5年生および6年生
▶定員
13人（保護者同伴、申込受付順）
※要事前申込み
【申込先・問い合わせ】
鳥取地方裁判所米子支部庶務課
電話：0859-22-2205

若い人手がおらず困っている、中山間地域の集落のみなさま

集落の行事、お困りごと鳥取県内の大学生がお手伝いします

田植え、草刈り、水路掃除、シカ柵やイノシシ柵の設置、地域のお祭りの運営などの作業を、大学生ボランティアがお手伝いします。

作業終了後は、慰労会などのお食事と交流の場を設けていただく事で、学生が「来てよかった。また来たいな。」と思えるようなご配慮をお願いします。

◆申込みの流れ　※申込みは集落や地区などの団体単位でお申込みください。

① 事前相談（1ヶ月前）	② 申込み（2週間前まで）	③ 内容確認（2～7日前まで）	④ 作業＆交流（当日）
①日程、作業内容等を学生人材バンクへ相談。	②内容が確定後、役場窓口の農林産業課へ申込書を提出。	③人材バンクスタッフより、当日の確認、確定人数の連絡。	④基本車で向かいますが、送迎依頼の場合も有ります。

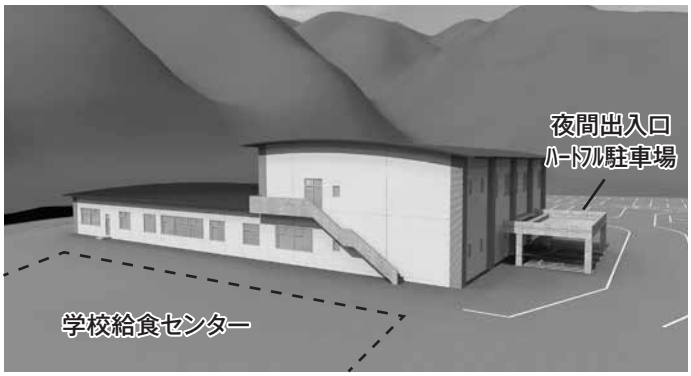
派遣については説明に伺いますので、まずはお気軽にご相談下さい。

【問合せ・申込】NPO法人学生人材バンク　電話（0857）37-3373　役場担当：農林産業課

江府町新庁舎建設工事について

令和元年6月7日（金）に開催された江府町議会6月定例会「庁舎等公共施設建設調査特別委員会」において、江府町新庁舎建設工事について進捗状況を説明しました。今後は発注に向けて準備を進めていきます。概要について、以下にまとめます。

【新庁舎外観図】



【設計について】

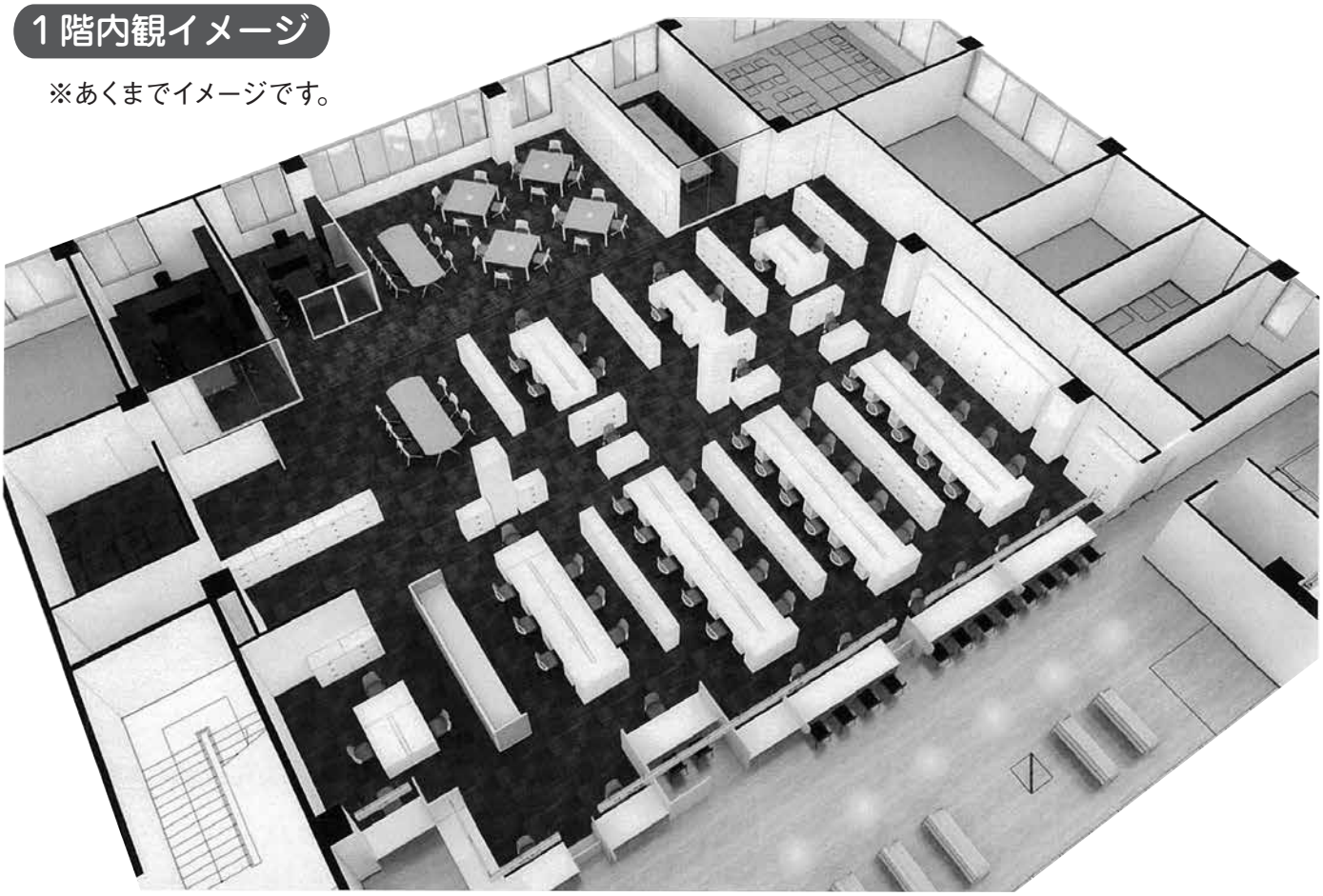
庁舎の設計については、株式会社桑本建築設計事務所に委託をしました。設計にあたっては、町民のみなさまにとって利便性が高まり、風通しの良い開かれた庁舎であること、防災機能を充実させ将来の町の規模を勘案しコンパクトな庁舎となることを重点としました。

【工事の着工および新庁舎での業務移行について】

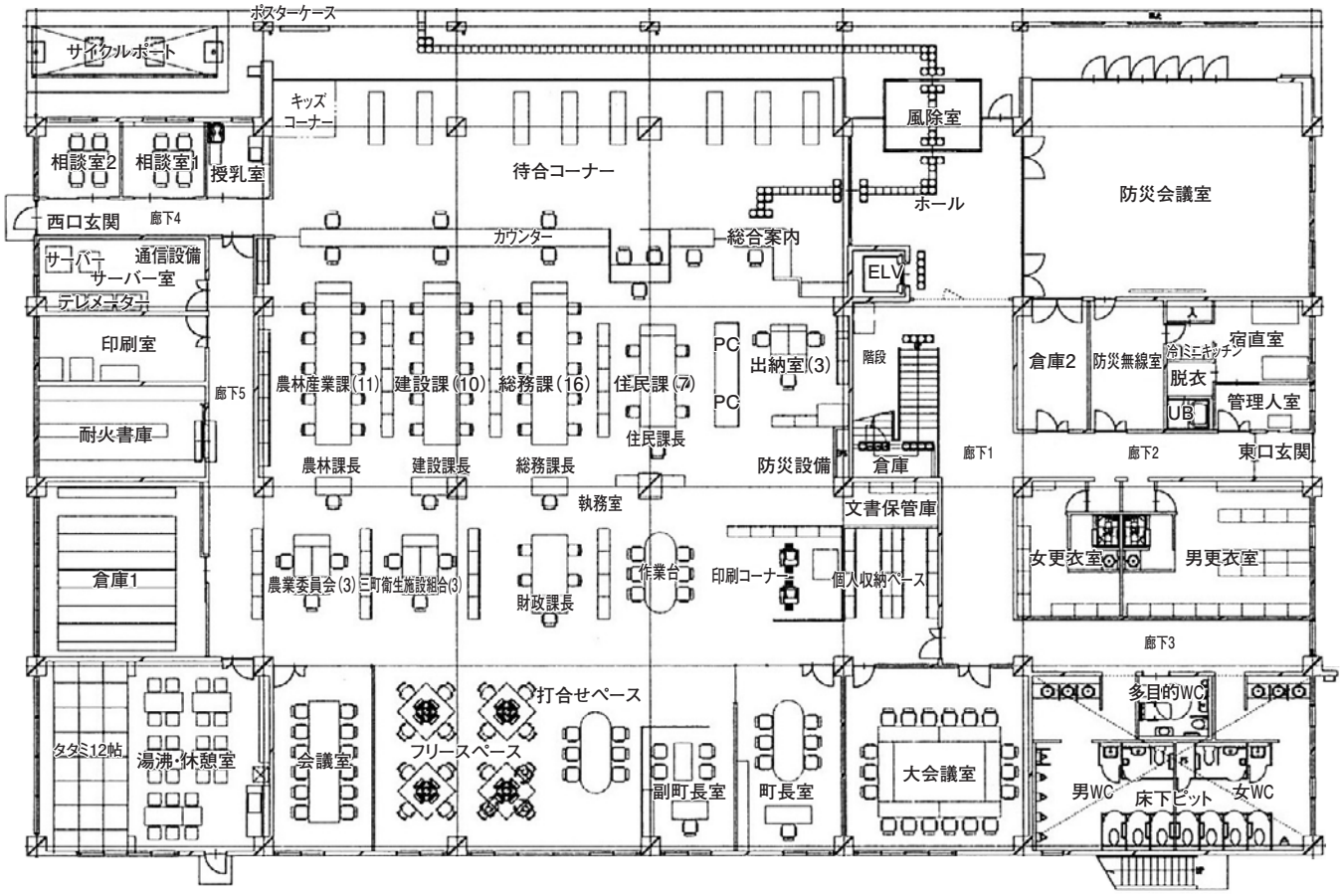
工事の着工は、8月上旬から中旬を予定し、工期は令和2年6月30日までとしています。新庁舎での業務移行は令和3年初めを予定としており、備品等の搬出・調達状況により前倒しになる場合もありますのでご理解ください。

1階内観イメージ

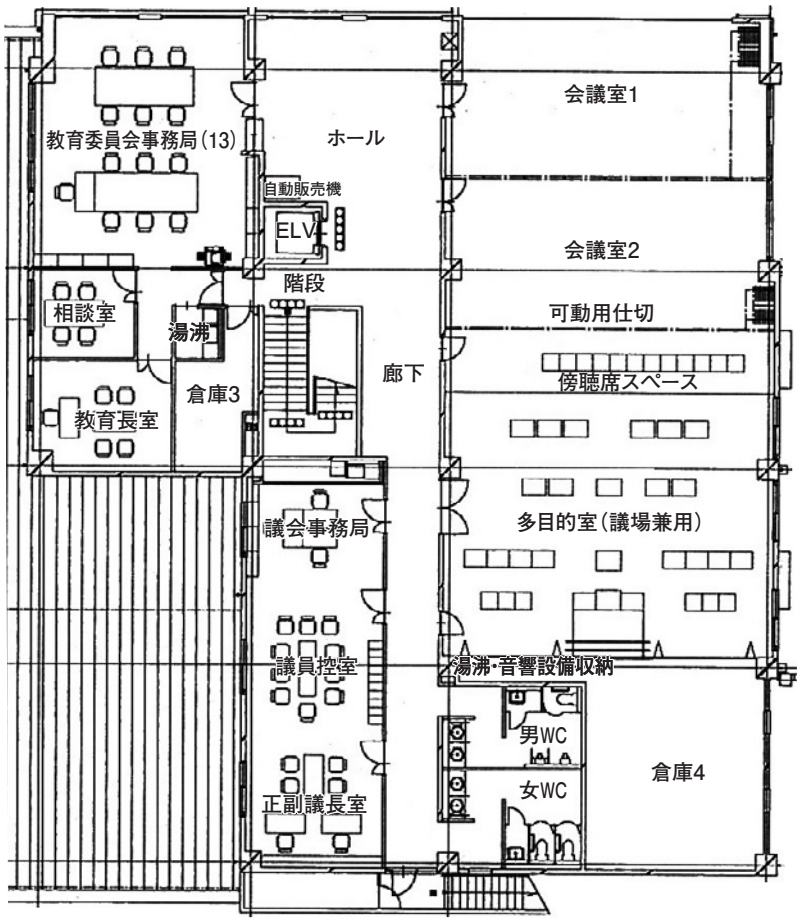
※あくまでイメージです。



1階平面図



2階平面図



随時募集しています!!

江府町役場新庁舎事業に係る寄附

【寄附の募集期間】
２０２１年３月３１日まで

【寄附の方法】

①町民の皆様へ

・「寄附採納願」で寄附をお願いします。ふるさと納税はご利用いただけません。

②町外の皆様へ

・ふるさと納税をご利用ください。寄附の使い道を「６．新庁舎建設に関する事業」にしてください。

③企業・団体等の皆様へ

・「寄附採納願」で寄附をお願いします。

※①、②について５万円以上の寄附で芳名板を設置します（※希望者のみ）。
※③について１０万円以上の寄附で芳名板を設置します。

【新庁舎に関する問い合わせ】
江府町役場総務課
電話：0859−75−2211

【ふるさと納税に関する問い合わせ】
江府町役場住民課
電話：0859−75−3223

国民健康保険・後期高齢者医療・特別医療 保険証等の更新

国民健康保険、後期高齢者医療、特別医療の保険証等が更新されます。該当する方は、現在お持ちの保険証等の有効期限が7月31日（水）までです。8月1日（木）から使用する新しい保険証等を7月22日（月）以降に簡易書留にて順次郵送します。お手元に届きましたらご確認ください。

後期高齢者医療被保険者証

有効期限 ××年 7月31日

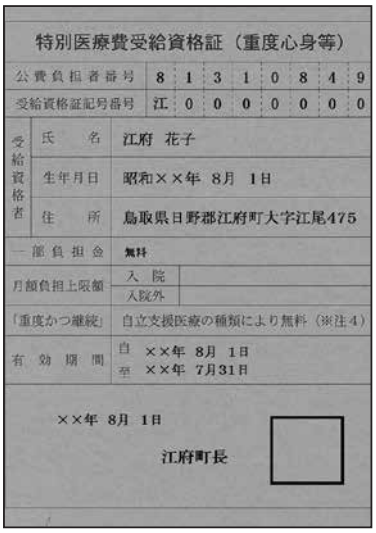
被保険者番号	00000000	
被保険者 住所	日野郡江府町大字江尾475	
被保険者 氏名	江府 一郎	男
被保険者 生年月日	昭和××年 8月 1日	
資格取得年月日	平成××年 8月 1日	
発効期日	平成××年 8月 1日	
交付年月日	平成××年 8月 1日	
一部負担金の割合	1割	
保険者番号並びに保険者の名称及び印	3 9 3 1 4 0 3 4 鳥取県後期高齢者医療広域連合	

【更新となる保険証等】

- ○ **国民健康保険被保険者証（薄緑色）**
- ○ **国民健康保険被保険者証 兼 高齢受給者証（薄緑色）**
- ○ **後期高齢者医療被保険者証（ピンク色）**
- ○ **後期高齢者医療限度額適用・標準負担額減額認定証（白色）**
- ○ **特別医療費受給資格証 重度心身等（青色）**をお持ちの方

※後期高齢者医療限度額適用・標準負担額減額認定証は、継続して該当になる方のみお送りします。

※国民健康保険限度額適用・標準負担額減額認定証（白色）は更新の対象となりませんので、引き続き発行を希望される場合は、福祉保健課で申請手続きをお願いします。



特別医療費受給資格証（重度心身等）

公費負担者番号	8 1 3 1 0 8 4 9	
受給資格証記号番号	江 0 0 0 0 0 0 0	
受給資格者 氏名	江府 花子	
受給資格者 生年月日	昭和××年 8月 1日	
受給資格者 住所	鳥取県日野郡江府町大字江尾475	
一部負担金	無料	
月額負担上限額	入院 入院外	
「重度かつ継続」	自立支援医療の種類により無料（※注4）	
有効期間	自 ××年 8月 1日 至 ××年 7月31日	

××年 8月 1日

江府町長

【問い合わせ】江府町役場福祉保健課　電話：0859−75−6111

令和元年度(平成31年度)の国民健康保険税の改正点

本年4月から令和元年度（平成31年度）の国民健康保険税の課税限度額と軽減措置が改正されました。なお、税率は、平成30年度から据え置きとなり、変更はありません。

【改正点】

1. 課税限度額（年間に課税される金額の上限）のうち、医療分の上限の引き上げ。

	【変更前】		【変更後】
医療分	上限58万円	→	**上限61万円**

※国民健康保険税は、医療分（上限61万円）と後期高齢者支援金分（上限19万円）と介護納付金分（上限16万円）の合計額となります。介護給付金分は40～64歳の方が対象です。

2. 国民健康保険税の軽減対象となる所得基準を一部変更。

世帯主および国保加入者の合計所得が

33万円 ＋ **28万円** ×（国保加入者数）以下の方 ⇒ **2割軽減の対象**

33万円 ＋ **51万円** ×（国保加入者数）以下の方 ⇒ **5割軽減の対象**

【問い合わせ】江府町役場住民課　電話：0859−75−3223

気をつけよう 消費者トラブル

通信販売は便利だけれど・・・③

インターネット通販 ～ネットフリマ、ネットオークション ～

・フリマアプリで購入した商品が偽物だったのに、出品者に返品に応じてもらえず、アプリ運営事業者に相談したところ、「当事者間で話し合うように」と言われた。
・フリマアプリで洋服を出品したが、購入者から「商品が届かない」と苦情を受けた。

アドバイス

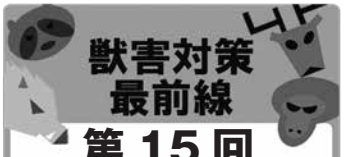
相談急増！　フリマサービスのトラブルにご注意ください！

インターネット上で個人同士が商品を取引できるフリマアプリやフリマサイトなど、フリーマーケットサービスの利用が増えるなか、出品者・購入者間のトラブルも急増しています。スマートフォンの普及により、最近は若者だけでなく幅広い年齢層の方が気軽に利用しています。フリマサービス事業者はトラブルに介入しませんので、一度トラブルになると当事者間での解決が難しい場合があります。

◎フリマサービスは個人同士の取引なので、トラブルは当事者間で解決するのが原則です。購入前に疑問点を出品者に質問したり、商品の発送には追跡できる方法を取るなど、トラブルの未然防止をこころがけましょう。
◎利用規約等で禁止されている行為は絶対に行わないようにしましょう。
◎未成年者が利用する場合は、家族で利用方法を十分に話し合いましょう。

○消費生活相談員による相談窓口
7月31日 (水) 、8月28日（水）午前9時～午後4時
役場本庁舎1階会議室にて開催（役場正面向かって右側の入り口からお入りください）

○通常の相談窓口
平日：江府町役場住民課（電話 :0859-75-3223)
土日：鳥取県消費生活センター
（電話 :0859-34-2648) ※祝日、年末年始除く



獣害対策最前線

第15回 電気柵のチェックポイント

日野郡鳥獣被害対策協議会
実施隊チーフ　木下卓也
【問い合わせ】0859-72-1399

7月から8月は、私たち実施隊への相談件数が最大になる時期です。この時期に多い相談の一つが電気柵をイノシシが突破したというものです。

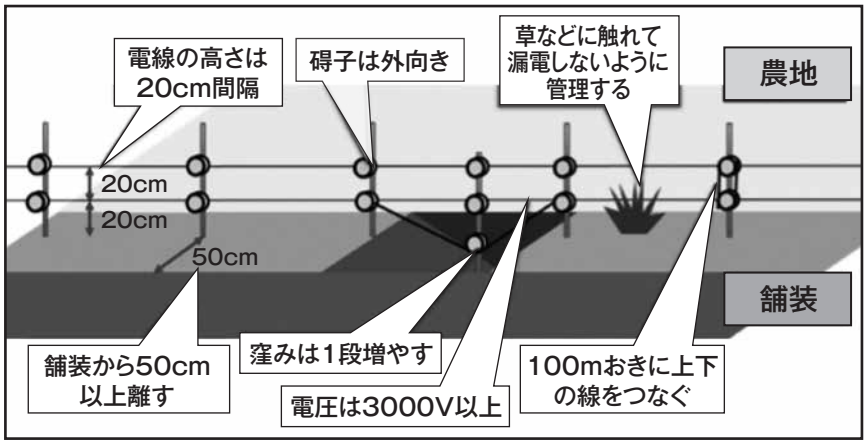
「電気柵を張って、きれいに草刈りもしたのに入るなんて、お尻から入ったに違いない！」なんて話も聞きますが、そんなことはありません。張り方や管理にミスがないかをしっかりチェックしてみましょう。

まず、最も多いミスは電線の高さです。地面から20㎝に1段目、さらに20㎝上に2段目を張ってください。1段目の高さが地面から25㎝より高くなると効果はなくなります。地面が窪んでいるところなどは1段増やすなど、電線と地面の間が広くならないように注意してください。

次に、週に1度くらいは、同じ時間帯に電圧をチェックしてください。3000ボルト以上が目安です。またその際にバッテリー残量が分かる機械であれば、あわせてチェックしてください。

最後に24時間通電になっているかチェックしてください。イノシシは本来「昼行性」の動物です。昼間は大丈夫と思わないように！

左の図を参考に、いま一度チェックしてみてください。



みんなで気にかけ、声掛けで

熱中症を防止 !!

気温の高い日は外出を控え、水分をこまめにとるようにしましょう。また、室内にいても温度や湿度が高いことから、熱中症になることがあります。熱中症の症状に気づき、早めの対処を心がけましょう。

熱中症対策チェック

- □ 天気予報などでその日の気温をチェックしている
- □ 部屋の温度や湿度を測っている
- □ こまめに水分補給をしている
- □ エアコンや扇風機などを活用している
- □ 外出時は日傘・帽子・水筒などで温度管理をしている
- □ 三食きちんと食べ、睡眠をとっている
- □ 緊急時や困った時の連絡先を確認している

軽い症状	やや重い症状	重い症状
めまい、立ちくらみ、汗がどんどん出る、筋肉のけいれん。	だるい、頭痛、吐き気やおう吐。	意識不明、言動がおかしい、ふらふらする、体温が高い、ひきつけを起こす。
◎対処方 （救急処置） 急いで水分をとる、涼しい所で安静にする。 症状が回復しない時は医療機関へ行きましょう。	◎対処法 意識が無い、反応がおかしい時はすぐに119番通報をしましょう。また、医療機関に着くまで、可能な限り応急処置を行ってください。	

上記のような症状があらわれたら、早めに対処をしましょう。

【問い合わせ】江府町役場福祉保健課　電話：0859-75-6111

口座振替のお願いについて

現金納付の江府町の税金は全て、口座振替に変更をすることができます。口座振替は納付の手間がなく、納付忘れを防ぐこともできます。ぜひ、口座振替をご利用ください。口座振替の申し込みは、ご本人様が直接、金融機関窓口にてお願いします。口座振替ができる金融機関は、**山陰合同銀行・鳥取西部農協・鳥取銀行・ゆうちょ銀行**ですので、お早めのお手続きをお願いします。ご不明な点がありましたら、役場住民課にご相談ください。

今月の国民年金

納付期限　7月分　令和元年9月2日（月）まで

平成３１年４月から令和２年３月までの国民年金保険料は月額１６，４１０円です。保険料は日本年金機構から送られる納付書により金融機関や郵便局、コンビニで納めることができるほか、口座振替やクレジットカードによる納付なども可能です。保険料は納付期限までに納めましょう。

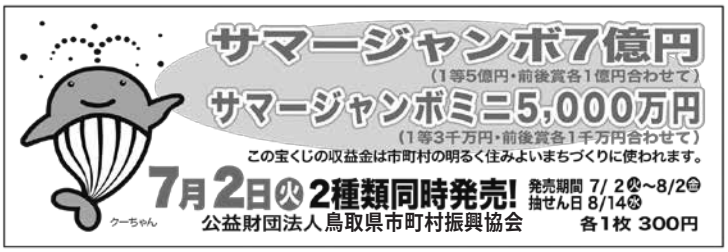
・固定資産税（2期）　・国民健康保険税（2期）
・介護保険料（2期）　・後期高齢者医療保険料（1期）

納付期限及び口座振替は令和元年7月31日（水）です。

人事異動（令和元年７月３日付）

【退職】

住民課　課長補佐　原　義博



人の動き　6月届（敬称略）

◎ごめい福を祈ります

（住所）	（氏名）	（年齢）	（世帯主）
荒田	小瀧美津枝	94歳	忠之
本町一	川上　砂子	90歳	卓也
助澤	一二三幸香	92歳	本人

ご寄付

社会福祉協議会に次の方からご寄付をいただきました。（6月分）　敬称略

◎香典返しとして

柿原	奥田　忠文	母 喜美子死去
米子市	小瀧　忠之	母 美津枝死去

◎見舞い返しとして

柿原	加藤タカコ	本人退院
柿原	加藤　愛敬	本人退院
佐川	坂本　潔	本人退院
美女石	門村　洋子	本人退院
池の内	加藤　明美	本人退院
池の内	加藤　悦子	本人退院

■まちの人口　2,892人（－6）
男　1,355人（±0）
女　1,537人（－6）
■世帯数　1,042 世帯（－3）
6月末現在（　　）は前月比

応援ありがとうございます！

ふるさと納税

令和元年6月30日現在

延申込件数　199件
（前月比+55件）

延寄付金額 2,540,000円
（前月比+63万円）

7月

(防)=防災情報センター (開)=山村開発センター (福)=総合健康福祉センター (役)=江府町役場本庁舎 (創)=高齢者創作館
(本5)=本町5丁目集会所 (せ)=せせらぎ公園

月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat	日 Sun
15 祝日のため 小型バス運休	**16** カラオケ同好会(本5) (広域隣保活動) 午前10時～正午 ピアノレッスン(防) 午後3時30分～5時 アイリス合唱団(防) 午後7時～9時 下蚊屋線	**17** 園芸教室(本5) (広域隣保活動) 午前10時30分～正午 大正琴教室(防) 午後1時30分～4時 ピアノレッスン(防) 午後3時30分～5時 書道教室(本5) (広域隣保活動) 午後4時～5時 ストリートダンス教室(防) 午後6時30分～8時 御机線	**18** 明徳学園開校日 折り紙教室 (広域隣保活動)(本5) 午前10時～正午 陶芸教室(創) 午後1時～4時 書道教室(防) 午後1時30分～3時 俣野線	**19** フラダンス教室(防) 午後2時～3時30分 お茶会(本5) (広域隣保活動) 午後2時～4時 柿原線 下安井線	**20** 江府町立図書館 ものづくりクラブ 午前10時30分～11時(防)	**21** ピアノレッスン(防) 午前11時～午後5時 第25回 参議院議員選挙 投票日
22 押し花教室(防) 午後1時～5時 墨彩画教室(防) 午後1時30分～3時30分 人権・同和教育講座 たんぽぽ学級 下枠参照 大河原線	**23** パッチワーク同好会 午前9時～11時30分(防) アイリス合唱団(防) 午後7時～9時 下蚊屋線	**24** ピアノレッスン(防) 午後3時30分～5時 ストリートダンス教室(防) 午後6時30分～8時 御机線	**25** 元気クラブ(2)(本5) (広域隣保活動) 午前9時30分～正午 社交ダンス教室(防) 午後2時～4時 アイリス合唱団(防) 午後7時～9時 新甘泉ほ場見学会 (要予約) 午前9時～(せ) くわしくは20ページ記載有 俣野線	**26** 柿原線 下安井線	**27** 和紙折紙教室(防) 午後1時30分～3時30分	**28**
29 大河原線	**30** ピアノレッスン(防) 午後3時30分～5時 アイリス合唱団(防) 午後7時～9時 下蚊屋線	**31** ピアノレッスン(防) 午後3時30分～5時 ストリートダンス教室(防) 午後6時30分～8時 御机線				

町民プールがオープン！

7がつ25にち～8がつ22にち
(※すいようび、8/16・17はおやすみです)
ごぜん10じ～ごご5じまであそべます
お問合せ：教育委員会　☎75－2005

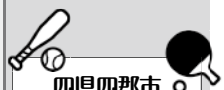
【人権・同和教育講座　たんぽぽ学級】

演　題：鳥取県とハンセン病　　講　師：荒井玲子
と　き：7月22日（月）　午後7時～8時30分
場　所：江府町防災・情報センター

【ハンセン病パネル展】

と　き：7月22日（月）～8月2日（金）
場　所：江府町防災・情報センター2階廊下にて

8月

月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat	日 Sun
事前予約で平日１９時まで証明書取得 **本庁舎窓口延長サービス** ～ 取得できる証明書 ～ ◆住民票（謄本、抄本）の写し ◆印鑑証明 ◆所得（課税）証明 ◆軽自動車税納税証明 【予約・問合せ】住民課（0859）75-3223		来庁の午前中までに住民課へ電話予約を 	**1** 俣野線	**2** フラダンス教室(防) 午後2時～3時30分 お茶会(本5) (広域隣保活動) 午後2時～4時 柿原線 下安井線	**3** 編物教室(本5) (広域隣保活動) 午前9時30分～正午	**4** ピアノレッスン(防) 午前11時～午後5時 まなびや(防) 午前10時～正午 介護フェアinあやめ 2019 と　き:午前10時～午後3時 ところ:介護老人保健施設 あやめ1階 くわしくは20ページをごらんください
5 大河原線	**6** 元気クラブ(1)(本5) (広域隣保活動) 午前10時～正午 囲碁教室(本5) (広域隣保活動) 午後1時～5時 ピアノレッスン(防) 午後3時30分～5時 下蚊屋線	**7** 手芸教室(本5) (広域隣保活動) 午前10時～正午 大正琴教室(防) 午後1時30分～4時 ピアノレッスン(防) 午後3時30分～5時 ストリートダンス教室(防) 午後6時30分～8時 奥大山カフェ(防) 午後7時～9時 人権・同和問題研修会 午後1時30分～3時(防) 御机線	**8** 社交ダンス教室(防) 午後2時～4時 人権・行政相談 午前9時～正午 防災・情報センター 俣野線	**9** いけばな教室(防) 午後7時～8時 柿原線 下安井線	**10** 江府町立図書館 おはなし会(防) 午前10時30分～11時	**11** ピアノレッスン(防) 午前11時～午後5時  四県四郡市 総合体育大会 日野郡各地で開催

町報こうふ

「町報こうふ」は今年4月号から紙面内容充実のため、穴開けを廃止しました。お手数ですが綴る際は、裏表紙の「○」および「▼」マークを目印にパンチ等で穴を開けていただきますようお願いします。

発行／江府町役場　〒689-4401 鳥取県日野郡江府町大字江尾475　TEL (0859) 75-2211　FAX (0859) 75-2389　URL：http://www.town-kofu.jp
編集／総務課　印刷／㈱高下印刷

町報こうふの最新号やバックナンバーは江府町ホームページで！

江府町

みなさまからのご寄附が江府町の子育てを支えています！

江府町「ふるさと納税」

平成30年度寄付総額

1，057万円
（790件）

平成30年度末ふるさと納税基金残高

56，484，878円

【平成30年度のふるさと納税の使途について】

江府町へご寄付いただきました「ふるさと納税」は基金として積み立てております。平成30年度は、207万円を「江府町子育て応援手当」に活用させていただきました。これは江府町内に居住する、保育園などを利用されていない1歳未満のお子さんを家庭で保育されている保護者様に、月額3万円を10ヵ月間支給するという事業です。

「江府町子育て応援手当」を受けられた方の声

・希望通りの在宅育児ができた。
・子育て応援手当があれば、次の子どもを生みたい。
・今後も支援を続けてほしい。　など

江府町への「ふるさと納税」をおまちしています！

江府町へ「ふるさと納税」をすると以下のようなメリットがあります。
①寄付金に応じて所得税や住民税の控除が受けられます。
②寄附をされた方にお礼商品（奥大山ギフト）が贈呈されます。

【申込み】NPO法人「こうふのたより」　電話：0859-72-3122
【問い合わせ】江府町役場住民課　電話：0859-75-3223

お申込みはこちらから♪
ふるさと納税サイト
「ふるさとチョイス」

今月のフェイス

山村　杏香（きょうか）さん
（宮市在住）

頑張り過ぎず、日常の生活を大切に

「農事組合法人宮市」で農業に携わっています。大阪府出身で鳥取大学在学中に、「NPO法人学生人材バンク」のボランティアに参加し、初めて宮市集落を訪れました。宮市集落のみなさんや地域おこし協力隊の松本さんに親切にしていただいたことで、「ここに住みたい」と思い、移住を決めました。また、「NPO法人奥大山倶楽部」にも所属し、江府町防災・情報センターの夜警もしています。江府町に来てみて感じたのは、「人口が少ない町だからこそコミュニケーションが濃い」ということ。私の活動が、これから江府町へ移住を検討される方の道しるべになれば嬉しいです。

COVER －表紙の写真－

「町報こうふ」表紙等モデル募集企画に応募された江府中学校1年生の森田羚那（れいな）さん（写真左）と塩見丸子さん（写真右）。初めてのモデル撮影でしたが、終始笑顔で仲の良さが伝わってきました。撮影場所はお二人ご希望の「木谷沢渓流」で行いました。